

ふれあい

主な内容

- 1 P. 勝倉小学校で花苗を植えました!
- 1 P. “楽しみ”を原点に活動を!
- 2 P. 令和6年度総会報告
- 3 P. 私のひとりごと・ありんこ旅日記
- 3 P. 地域のイケイクさん・地域のわだい
- 4 P. 私の撮っておき・私のふるさと
- 4 P. 健康コーナー・部会だより

●発行所/ひたちなか市長堀町3-4-1 (1中地区コミュニティセンター内) ☎029-275-2671 ●発行責任者/山田 俊 ●編集/広報委員会

勝倉小学校で花苗を植えました!



6月20日、毎年恒例の「自然環境に親しむ会」(環境部会主催の花苗植え)が、勝倉小学校で行われました。今年は5・6年生の児童と先生・部会員 計41人が参加。玄関の周囲は、花壇にみんなで植えた橙・黄色のマリーゴールドとサルビア計約1000本の花苗で、華やかな雰囲気になりました。



「楽しみ」を原点に活動を!



一中地区地域の
ふれあいを広める会
会長 山田 俊

日頃より、一中地区地域のふれあいを広める会の事業運営に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年4月より坂井会長の後を引き継いで、会長に就任しました。どうぞよろしくお願いたします。

正直なところ、自治会長12年の体験から、人の繋がり難しさを骨身に感じていたため、引き受けるべきではないと考えていました。一方、10年間行ってきた青色防犯パトロールは、素晴らしい先輩方に恵まれ、自分を成長させてくれました。さすが一中地区の住民の意識はすごいぞと、痛感しました。この人たちの思いを途切れさせてはならないとの一念から、就任を決断いたしました。

コロナ禍も一段落し、漸次いろいろな活動が可能になってきましたが、この3年間は余りにも大きく、何をどう活動していけば良いのか暗中模索の状況です。

そんな中で思うに、人は楽しくないと動きませんし、発想を巡らすこともしません。結局、消極的な姿勢になっていきます。そこで、活動の尺度の根底に

- ① 楽しくないものは行わない
- ② どうすれば楽しくできるか

私は、この2点を原点に据えて、より良い方向に進めて行きたいと思えます。

楽しい→自分自身が元気になる→相手に笑顔を届けられる→夢が湧いてくる→さらに楽しくなる。この好循環に繋げて行ければ、と考えています。皆さん、どうぞよろしくお願申し上げます。



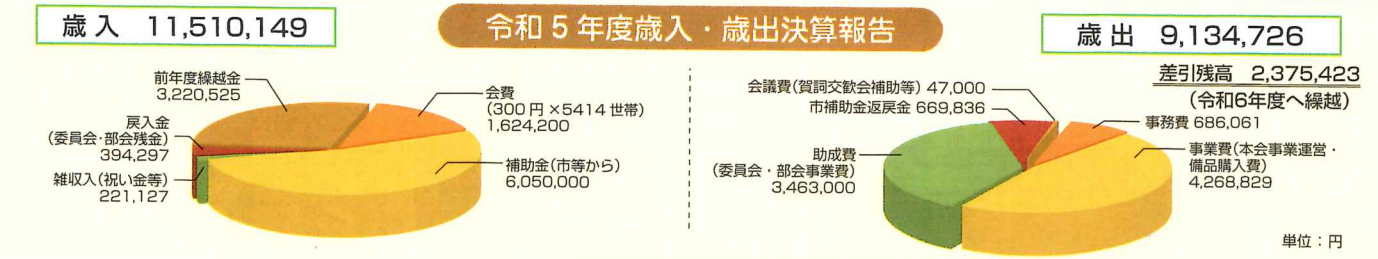
令和6年度 一中地区地域のふれあいを広める会 総会報告



4月20日、一中地区コミュニティセンターにおいて令和6年度定期総会が開催されました。大谷 明市長・海野 透県議・薄井 宏安市議会議長のご祝辞と地域選出の市議や地域の小中高校長等にご出席をいただき、15名の来賓と代議員57名と会役員・コミセン職員で行われ、議事すべての案件は原案通り可決されました。

退任された坂井・盛口・伊藤氏
 今年は会の役員改選の年度に当たり、7名の方が退任されました。9年間会長を務められた坂井久彦氏、副会長の盛口祥子氏、29年間会計を担当されていた伊藤昭子氏、また13年間コミセン指導員をされていた樋熊千春氏、東中根団地自治会長の伊野昂氏、富士山自治会長の土田良春氏、会監事の岡田豊勝氏に感謝状が贈呈されました。

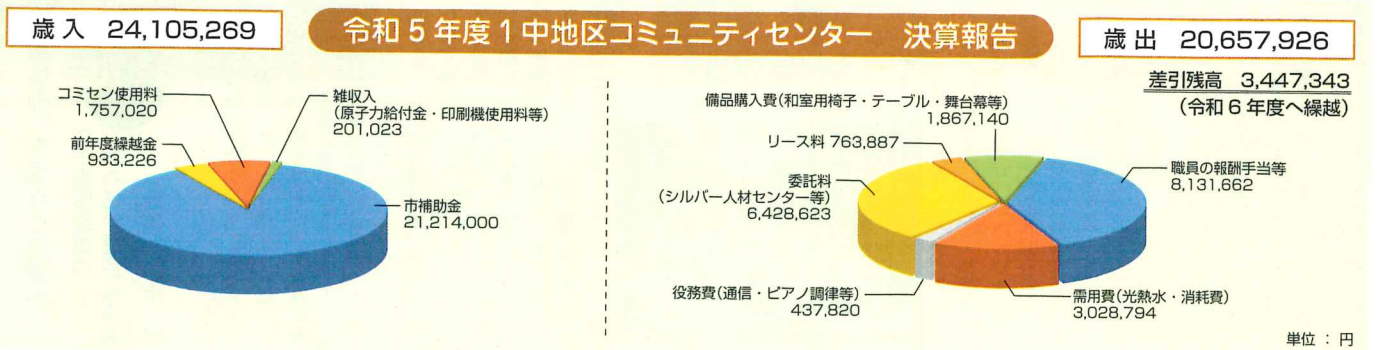
役員		令和6年度一中地区地域のふれあいを広める会(本会)事業計画		事業			
会長	山田 俊	監事	尾曲 六郎・小池 多美子	4/20	R6年度ふれあいを広める会総会	11/16・17	第39回コミュニティまつり
副会長	菊池 均	事務局	打越 勇夫・原口 真美江	5/10	ひたちなか市コミュニティ組織	12月	ひたちなか市コミュニティ組織
	川瀬 正紀		北 礼子		連絡協議会総会		連絡協議会全体会
	小室 誠司	顧問	坂井 久彦	10/13	第30回秋季大運動会	2/2	第34回芸能音楽祭
理事	自治会長9名		盛口 祥子	10/23・24	理事視察研修	随時	役員会・理事会・実行委員会
	部会・委員長6名						ホームページ運営など



令和6年度委員会・部会事業計画

<p>地域部委員会 事業費 ¥40,000 委員長 菊池 均</p> <p>事業 7月 委員会 (敬老会への対応、運動会の見直し) 随時 委員会</p>	<p>実践部委員会 事業費 ¥50,000 委員長 小室 誠司</p> <p>事業 6/30 交流会(委員会・部会) 随時 委員会</p>	<p>広報委員会 事業費 ¥775,000 委員長 横山 恵美子</p> <p>事業 7・12・3月 広報紙「ふれあい」発行 10月 コミュニティまつりチラシ作成 10月 写真撮影研修会</p>
<p>体育部会 事業費 ¥815,000 部会長 小松崎 千秋</p> <p>事業 4/21 第48回ソフトボール大会 6/16 第21回三世代交流レクリエーション大会(中止) 10/13 第30回秋季大運動会 10/27 第7回ノルディックウォーキング 2/9 第14回ヘルスパレーボール大会 3月 第26回ゴルフ大会</p>	<p>青少年部会 事業費 ¥500,000 部会長 小室 誠司</p> <p>事業 6/29 三世代ふれあいチャレンジ教室(長堀小) 7/12 市少年の主張大会 参加 8/27 親子で社会見学(鹿島日本製鉄) 11月 親子でわくわく自然体験事業 11/30 星空観察会 1/11 お正月遊び(勝倉小)</p>	<p>環境部会 事業費 ¥440,000 部会長 三浦 秀夫</p> <p>事業 5/16・11月中旬 地域内清掃準備 6/20 自然環境に親しむ会(勝倉小) 7/9 料理教室(環境面から食生活を考える) 12月 研修視察 2月 環境問題に関する勉強会</p>
<p>福祉部会 事業費 ¥208,000 部会長 荒木 ともし</p> <p>事業 7/6・2/17 地域福祉講習会 9/10 部会視察研修 10/12 福祉部会全体会 随時 特別養護老人ホーム「はまぎくの里」ボランティア 正安寺ボランティア</p>	<p>安全防災部会 事業費 ¥315,000 部会長 長岡 明美</p> <p>事業 7・11月 交通事故防止啓蒙活動 8月 安全教室 9/24 視察研修(防災関係) 2/19 理事研修(防犯関係)</p>	<p>文化部会 事業費 ¥440,000 部会長 池田 聡</p> <p>事業 6/6 移動研修 11/16・17 第39回コミュニティまつり 12月 心のいやしコンサート 2/2 第34回芸能音楽祭</p>

※各委員会・部会の事業費は、本会からの助成費です。
 ※自治会ごとの事業内容は、各自治会からのお便りをご覧ください。なお、各自治会長は以下のとおりです。
 永盛 啓司(勝田駅前南) 菊池 均(三反田) 谷田部 誠(大成町) 伊藤 政徳(西中根) 山田 俊(中根) 風見 保(大平) 大貫 英次(勝倉) 大内 由利子(金上) 川瀬 正紀(笹野) 松本 定巳(東中根団地) 中村 慎(富士山) 佐藤 定男(薬師台)



私のひとりごと

入学式に思う

大平自治会 TK(75)

4月の初めに、小学校の入学式に参列する機会がありました。先生に案内され式場の体育館に行くと、保護者の方々と在校生の代表の児童が、すでに所定の場所に座っていました。

新入生が座る小さな椅子が60数個並べられてありました。それを見て「なんてかわいらしい、まるで幼稚園に来たみたい」と思いました。それもそのはず、つい2・3週間前までは幼稚園が保育園に通っていた子ども達なのだと、改めて思ったものです。新入生が席につき、一人ひとり名前を呼ばれると、元気に返事をする子、恥ずかしそうに立ち上がる子と色々でしたが、みんな期待と不安で胸いっぱいにしていました。

さて、私の入学式の思い出となると、大学は日本武道館、中学校はたぶん学校の体育館でよく覚えていませんが、高校ははつきり覚えていません。それが、開校3年目で体育館はまだ完成されてなく隙間だらけで、しかも当日は雨風が強くて寒かった思い出があるからです。

そんな思いとは別に、私は小学校の入学式の経験がありません。なぜかと言っと、当時私の父は小学校の教員で、私が入学する年に水戸から北茨城に転勤になり住宅が手配できず、入学式の1週間後に転居することになったためです。時間を戻すことができるのであれば、70年前に戻り、小学校の入学式を経験したいと思っています。



地域のイキイキさん

心に残る思い出

勝倉自治会 小沼富枝(94)



路を挟んで向かい側には大黒屋さんという雑貨屋さんがあり、いろいろな店頭に並んでいました。

私は勝倉で生まれ育ちました。平磯の祖父は小学校の教員でした。私も祖父のように学校の先生になろうと考え、土浦の師範学校に行き寮生活をしながら、男女共学で学びました。学生の時は、体操部に入部して活動。床運動は当時5人1チームで、一緒に演技しました。跳び箱・平行棒・平均台と練習に励み、第2回国民体育大会(石川県金沢市)では、茨城県代表で出場。第3回(九州)は関東の予選会で茨城は4位となり出られず、残念でした。第4回は東京大会でしたから、茨城県代表として出場できました。

師範学校を卒業して最初に勤務した学校は、那珂湊第一小学校でした。児童数が多く、各学年6組までありました。先生方も担任外の先生がたくさんいました。

現在、勝倉には商店がありませんが、私の子供の頃はいろいろなお店があり、買い物に行くのが楽しみでした。山田屋さんに行くとき、広い棚の上に大きな蓋付きの瓶がいくつも並び、美味しそうな菓子がたくさん詰まっています。買いに行くとき、白い紙袋の中に詰めてくれるのが嬉しかったです。本郷パン屋さんや木内酒屋さんが並んであって、父の自転車の後ろに乗って買い物に行っていたことを思い出します。



小沼さんの描いた墨絵

子供の頃の忘れられない嫌な思い出は、水害です。那珂川が増水すると、勝倉一面が水浸しになるので、水量が多くなると床下からどんどん増水して、縁側から部屋まで水浸しになります。ですから、八畳間の柱と柱に棒を結びつけて棚を作り、畳を濡らさないように高く載せていきます。十二畳間も同じく棒を結びつけて高い櫓を同じくし、その上畳を載せるのです。水害が何度かあるうちに避難はしなくなり、自宅の高い屋根裏で、様子を見守るようになり、水が引き始めると床板に泥が残るので、水と一緒に箒で泥を掃き流します。跡が綺麗になり、板が乾くのを待ってやっと畳が敷けるのです。

最近水害も無くなり、安心して生活できるよくなりました。

ありんこ旅日記

あの生き物は何? <前編>

ペンネーム ありんこ

北海道の景色が好きで毎年、春秋にカメラをぶら下げて道内の各地を歩き回っている。その途中で色々な生き物に出会ってきた。エソシカ・キタツツネ・オオワシ・ゴマフアザラシ等々。

数年前、熊の出没が増えているとの報道があり、熊対策の必要性を感じた。インターネットには「熊鈴やラジオで音を出して人の存在を知らせる、出会ったらじっと熊をにらむ、腕を伸ばして体を大きく見せる、逃げる時は背中を見せ

ずにゆっくりと後ずさりする、襲われたら手で後頭部をおさえて体を丸める」等がイラスト入りで説明されていた。読んで「なるほど」と納得し「これならできる」と自信を持った。

その3日後、釧路から40kmほど西方の、ひと気の無い湿原を訪れた。さほど大きくはないが太平洋に隣接し景色が素晴らしい。国道から草むらに入り、小道を1kmほど進むと小高い丘の上に出た。青々とした海を背景に見下ろす湿原は、秋の柔らかい日差しを浴びて水面がきらきらと輝いていた。「写真はここで撮ろう」と迷わず決めた。

三脚を立ててカメラを設置し、鼻歌まじりで

周囲を見渡すと・・・小道の100mほど先に何か黒い物が動いていた。「はて、あの生き物は何?」と目を凝らしたが、よくわからない。太い首、ずんぐりとした胴体。犬に似ていたが座った形が違う。まさか?

これは大ピンチ! 続きは114号



地域のわだい

初めての田植え

長堀小学校 5年 若林 那奈

5月10日の午前中、田植えをしました。田んぼの真ん中のあたりは泥になっていたの、植えつけるのが簡単でした。端のほうに行くと水が深く、泥水になっていて植えつけるのが難しかったです。



みんなで並んで植え付け



泥の中でも友達と楽しく

花まつりコンサート

中根地区

4月7日、正安寺の本堂で「花まつりコンサート」が開かれました。

メイン出演者は、「バラが咲いた」で有名な歌手のマイク眞木さんです。眞木さんは現在81歳。杖を突いて登場したので足が悪いのかと思っていたら、なんと杖で縦笛演奏。年齢を感じさせない若々しい歌声で、自作の歌やみんなが知っている歌を何曲も歌いました。歌だけではなく、父親の実家が水戸市とか話題が豊富で、お年寄り川柳を交えた話術には皆腹を抱えて笑いました。最後に「バラが咲いた」を全員で合唱。楽しい時間を過ごしました。



終了後にマイク眞木さんと記念撮影



R5年7月 天草倉岳から見た島々 <KKさん>



息子に会いに 熊本へ



私の掃っておき!!



5/19 熱気球フライト in 親水性中央公園<KNさん>



迫力満点!!



5/18・19 大子町の常陸國YOSAKOI祭り<カズちゃん>

健康コーナー

ヘッドホン・イヤホン難聴にご注意!

立原耳鼻咽喉科 立原 成久

近年、スマホの音楽コンテンツや携帯音楽プレーヤーの普及により、イヤホン等を使用して音楽を聴く人々が増えています。ワイヤレスイヤホンのような便利な機器の普及とも相まって、特に若年齢層で、音響性聴器障害の危険性が高まっています。WHOの調査によると、世界中で11億人の若者が難聴になるリスクにさらされているとされています。ただ、今や若者にとって、イヤホンを使用することは日常でしょうから、以下の点に注意することが勧められています。

<注意点>

- ①音量を下げたり、連続して聞かずに休憩を挟む
- ②使用を1日1時間程度にする
- ③周囲の騒音を低減する「ノイズキャンセリング機能」のついた商品を選ぶ

幸い、ヘッドホン・イヤホン難聴の聴力低下レベルは、軽度難聴が主体で、基本的に全然聞こえなくなることは稀で、当人も聴力低下に気付かない人も多数います。

そうだからといって、軽視するにはリスクがあり、知らず知らずのうちに不自由が生じるレベルにまで将来進行したり、高齢者になった時に自然と生じる加齢性の聴力低下と相まって、不自由になる確率が増えます。また、ある音楽を、同音量同時間聞いたとしても、難聴になる人とならない人がいます。これは内耳感覚細胞の脆弱性の差によるもので、その弱さをもっている人は、より一層の注意が必要になります。

人生100年時代、高齢期に難聴になっていないことは、その人の人生を左右します。ご注意ください。



天然秋田杉の里

西中根自治会 伊藤 政徳(79)

私のふるさととは、秋田県の山間部にある北秋田郡上小阿仁村です。北緯40度、県のほぼ中央部に位置し、古くから天然秋田杉の里として知られ、面積の約90%を山林原野が占めています。周辺の集落は平成の大合併で北秋田市となりましたが、天然杉の財産があるため今でも「村」のままです。

長い冬の暖房はもっぱら薪ストーブで、父と一緒に山へ薪の切り出しに行ったり、弟と木炭の配達を手伝ったりした記憶が思い出されます。実家の両親は昭和20年代後半に映画館を開き、週に2日間だけの開催でしたが当時は唯一の娯楽で、劇団を招いての芝居・マジック・歌謡ショーなどもやって随分繁盛していました。その後テレビの



上小阿仁村の冬景色 (1960年頃)

普及とともに映画館は閉館しましたが、実家の屋号は今でも「劇場」で通っています。私の上小阿仁村での生活は、中学卒業まで、高校入学と同時に、日本海側の米代川河口の能代市で、3年間下宿生活を送りました。実家へ帰れるのは正月3日間だけ。バスケットボールの練習漬けの毎日でした。いい監督と頼もしい仲間たちとの出会いがあり、これも今思えば懐かしい「ふるさと」での思い出です。

私のふるさと

部会だより

体育部会

今年度最初の行事である第48回一中地区ソフトボール大会を、4月21日那珂珂湊運動公園で開催した。

当日は、曇り空から晴れになり、絶好のソフトボール日和。8チーム115人がA面とB面に分かれ、各チーム2試合ずつ行われた。打撃にはチーム全員が出場して、親睦を深めると共に日頃の練習の成果が十分に発揮された。

- 優勝 西中根 (西中根)
- 準優勝 駅前南 (藤田駅前南)
- 三位 三反田キヤートルス (三反田)



青少年部会

6月29日、長堀小児童を対象に三世代ふれあいチャレンジ教室を実施。

竹を使った水鉄砲・ブンブンごま・けん玉や、涼しげなサンキャッチャー・七夕飾りなど季節を取り入れた工作を行った。教わりながら真剣に作り上げた作品を前に笑顔が見られた。

最後に、ボランティアをしてくれた一中コーラス部の素晴らしい歌声に、大きな拍手が送られた。



文化部会

6月6日、19人の参加で大田原市雲蔵寺・黒羽城址公園を見学した。

雲蔵寺は俳人・松尾芭蕉が奥の細道紀行で立ち寄ったことでも知られている。寺域には、当時の住職であった仏頂禪師と芭蕉の歌碑がある。

黒羽城は、天正4年に大関高増が築城し、北那須最大の規模を持つ城郭。現在、城郭の跡は公園となり土塁・空濠などが保存されており、当時のおもかけを残している。



編集後記

この時期に発行する広報紙には、ふれあいを広める会の総会報告として、今年度の事業計画と昨年度の決算報告を掲載しております。今年度も、当会にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

◆令和6年度広報委員◆

- 委員長 横山 恵美子
- 副委員長 有賀 正記
- 委員 菊地 恵子
- 小环 三千代
- 武藤 英世
- 上久保 和子
- 三橋 ひとみ
- 堀江 博志
- 塙 久美子
- 伊藤 昇
- 永井 雅子

モニター